

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義	
科 目 名		基本技術Ⅲ(ヘルスアセスメントⅠ)		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		1学年		学期及び曜時限		後期		教室名		202・203. 実習室	
担 当 教 員		川原 秀明		実務経験とその関連資格		看護師・保健師・看護学専任教員。心臓血管外科・循環器内科・ICU等で病院に5年勤務。その後教員として6年勤務。					
《科目目標》											
① 対象者の健康状態を把握するために必要なヘルスアセスメントおよびフィジカルアセスメント技術を理解する											
② 事例を通して、バイタルサイン測定(意識、体温、脈拍、呼吸、血圧)が実践できる。											
③ フィジカルアセスメント(視診、触診、打診、聴診)を実践する											
《成績評価の方法と基準》											
【評価方法】課題15%、授業態度5%、技術チェック20%、終講試験60%の総合評価。											
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満 VS測定の技術は練習し技術チェックに合格すること(合格まで再チェックを実施)											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ メディカ出版											
1巻 解剖生理											
7巻 呼吸機能障害/循環機能障害											
EX1巻 呼吸器											
EX2巻 循環器											
《授業外における学習方法》											
①事前・事後学習を行い授業に出席すること。事前課題は必須。											
②指示している動画を視聴して出席すること。											
③バイタルサイン測定技術は、全員必ず合格するよう自主練習に励むこと。											
《履修に当たっての留意点》											
①提出物は、クラス単位で回収し指定された時間を守り提出すること											
②グループワークや意見交換は時間を有効に積極的に行うこと											
③演習時の技術が実施出来ないと、患者さんの安全を守れないのだということを理解しておくこと											
④言える、書ける、行動できるよう主体的学習姿勢で臨むこと											
授業の方法			内 容				使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヘルスアセスメント、フィジカルアセスメントとは				教科書 配布資料	A4ルーズリーフ(全授業持参) グループワーク			
		各コマにおける授業予定	看護師が情報を得ることの意味・目的、得た情報の活用方法について ヘルスアセスメントの中のフィジカルアセスメント 予測・判断と、予防につなげる技術								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインとは				教科書 配布資料	バイタルサイン手順書作成 (6回目までに作成) 第3.4回への事前学習課題として P148 表4-6, 7 P152 表4-9			
		各コマにおける授業予定	生命の徴候としての、意識・呼吸・体温・脈拍・呼吸とは なぜそれぞれを観察する必要があるのかを考える								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインとは				教科書 配布資料	動画視聴 P160 体温測定 事後課題 P160 表4-14			
		各コマにおける授業予定	意識のメカニズム、意識状態の評価基準(JCS、GCS) 呼吸調節のメカニズムと影響因子、呼吸の測定部位とポイント 呼吸の種類と異常 体温調節のメカニズムと影響因子、体温の熱型 体温の測定方法とポイント								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインとは				教科書 配布資料	時計(秒針つき) 袖を上げやすく膝、踵が 分かりやすい服装 事後課題 P155 表4-10			
		各コマにおける授業予定	脈拍に関する基礎知識、脈拍の測定方法、脈拍の異常 脈拍調節のメカニズムと影響因子、脈拍の測定部位とポイント 血圧調節のメカニズムと影響因子 血圧値の分類 血圧測定方法(触診法・聴診法) 血圧計の種類と点検								
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 講義				教科書 配布資料	袖を上げやすい服装 血圧計 聴診器 事後課題 P156 表4-11			
		各コマにおける授業予定	脈拍に関する基礎知識、脈拍の測定方法、脈拍の異常 脈拍調節のメカニズムと影響因子、脈拍の測定部位とポイント 血圧調節のメカニズムと影響因子 血圧値の分類 血圧測定方法(触診法・聴診法) 血圧計の種類と点検								

第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 演習	教科書 配布資料	ジャージ上下、ナースシューズ
		各コマにおける授業予定	①問診・視診・触診・打診・聴診 ②バイタルサイン測定（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧） ③SPO2、呼吸音聴取、チアノーゼ ④ツルゴール、浮腫、眼瞼結膜 ⑤意識（JCS、GCS）、瞳孔・対光反射		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントの実際 演習	教科書 配布資料	事後課題 VS手順書修正 演習記録（リフレクション）
		各コマにおける授業予定	①問診・視診・触診・打診・聴診 ②バイタルサイン測定（意識、体温、脈拍、呼吸、血圧） ③SPO2、呼吸音聴取、チアノーゼ ④ツルゴール、浮腫、眼瞼結膜 ⑤意識（JCS、GCS）、瞳孔・対光反射		ジャージ上下 ナースシューズ 聴診器 血圧計 時計（秒針つき）
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	フィジカルイグザミネーション	教科書 VS手順書	聴診器 授業資料課題 グループワーク
		各コマにおける授業予定	問診・視診・触診・打診・聴診について 聴診器の使い方 事例から身体的健康上の問題を査定を考える		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルイグザミネーション	教科書 配布資料	聴診器 上下ジャージ・ナースシューズ 第10回への事前学習として 事例患者のCOPD、心不全 の解剖生理、病態の学習
		各コマにおける授業予定	問診・視診・触診・打診・聴診について 聴診器の使い方 事例から身体的健康上の問題を査定を考える		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例患者のVS測定と観察の実際	教科書 援助計画立案	援助計画立案（GW）
		各コマにおける授業予定	事例患者のVS測定、症状観察		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	事例患者のVS測定と観察の実際	教科書 援助計画	援助計画の実践 患者：ジャージ上下 NS：白衣一式 ナースシューズ 聴診器 血圧計 時計（秒針つき）
		各コマにおける授業予定	事例患者のVS測定と症状観察に基づく実践		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例患者のVS測定と観察の実際 基礎看護学の出題基準を把握する	教科書	援助計画の振り返り、評価 グループ発表
		各コマにおける授業予定	①援助を实践しての振り返りと必要な援助を考える ②基礎看護学の出題基準からわからない言葉を理解する		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	原理・原則に基づき正確なVS測定の実践ができる	教科書	患者：ジャージ上下 NS：白衣一式 ナースシューズ 2股聴診器 血圧計 時計（秒針つき）
		各コマにおける授業予定	技術チェックリストに沿って正確に実践し、ループリックでの振り返りが行える		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	原理・原則に基づき正確なVS測定の実践ができる	教科書	患者：ジャージ上下 NS：白衣一式 ナースシューズ 2股聴診器 血圧計 時計（秒針つき）
		各コマにおける授業予定	技術チェックリストに沿って正確に実践し、ループリックでの振り返りが行える		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		授業ファイル提出 学習課題提出 ①バイタルサイン測定援助計画 ②意識レベル（JCS、GCS） ③体温 ④呼吸数、パターン、SPO ₂ 、呼吸音聴取 ⑤血圧・脈拍、チアノーゼ ⑥ツルゴール、浮腫 ⑦眼瞼結膜 ⑧各授業内で指定した提出物
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		